

第5回（通算第11回）八大学工学部長会議議事録

日時 平成29年4月21日（金）10:00～12:10

場所 KKR ホテル東京 11F 朱鷺の間

出席者 （北大）増田隆夫工学部長、（東北大）滝澤博胤工学部長、（東大）大久保達也工学部長、（東工大）岩附信行工学院院长、（名大）新美智秀工学部長、（京大）北村隆行工学部長（連合会会長）、（阪大）田中敏宏工学部長、（阪大）狩野裕基礎工学部長、（九大）高松洋工学部長

陪席者 （東大・工学系・情報理工学系等事務部）稲垣博明事務部長、下大田真一総務課長、角野広司総務課総務チーム係長、小間菜々子総務課総務チーム係員、（東工大・大岡山第二事務区）滝澤重道事務長、（名大・工学部）大矢淳一事務部長、澤村明都総務課長、成田吉伸総務課総務掛長、（京大・桂地区・工学研究科事務部）竹下基幸連合会前監事、岡島徹事務部長、渡邊正和総務課長、長谷川敏之教務課長、籠谷文一総務課総務掛長、（九大・工学部）出嶋敏弘事務部長、小田正俊総務課長、水野和彦総務課課長補佐、鶴岡洋介総務課庶務掛長

事務局 石原直事務局長、安尾千恵子事務局員

注記 工学部長会議の回数：一般社団法人として第5回、連合会として通算第11回。

議題

1. 報告事項

- (1) 前回議事録確認
- (2) 平成28年度第2回運営委員会報告
- (3) JST-CRDS 基盤技術(工学)ワークショップへの参加報告
- (4) 文部科学省との意見交換報告

2. 協議事項

- (1) 達成度調査の実施状況と今後の進め方について
- (2) 博士フォーラムの実施報告と今後の進め方について
- (3) 八大学からの提言と今後の進め方について
- (4) 高度工学教育の在り方について

3. その他

- (1) 第5回 UK-Japan ワークショップについて
- (2) 今後の予定について

配布資料一覧

資料1 第4回(通算第10回)八大学工学部長会議議事録（案）

資料2 平成28年度第2回運営委員会議事録（参考）

資料3 JST-CRDS 基盤技術(工学)ワークショップ

資料4 文部科学省との意見交換会の実施について

- 資料5 達成度調査の在り方検討と実施状況について
- 資料6 平成 28 年度博士フォーラム実施報告
- 資料7 我が国の発展を支える優秀な留学生人材の育成と定着（提言）
- 資料8 「工学教育の在り方に関する検討」の関連資料
- 資料9 第 5 回 UK-Japan ワークショップのご案内
- 資料10 八大学工学系連合会の会長校・幹事校について（参考）

議 事 要 旨

開会の辞

定款施行細則第 4 条第 4 に従って八大学工学系連合会会長が議長となり、第 5 回八大学工学部長会議の開会に当って北村会長・議長より挨拶があった。

会議日程及び資料確認

事務局より会議日程の説明、及び配布資料の確認が行われた。

出席者自己紹介

4 月年度初めの開催であることから、出席者全員の自己紹介があった。

1. 報告事項

(1) 第 4 回（通算第 10 回）八大学工学部長会議議事録確認（資料 1）

資料 1 により、昨秋 9 月 30 日（金）、札幌にて開催した第 4 回（通算第 10 回）八大学工学部長会議議事録(案)を確認した。

(2) 平成 28 年度第 2 回運営委員会議事録（資料 2、参考）

北村会長より、昨年 12 月 21 日に東京で開催した平成 28 年度第 2 回運営委員会における、博士フォーラム、今年度の提言に関する議論の詳細が記録されているので本日の議論の参考にされたい旨、紹介があった。

(3) JST-CRDS 基盤技術(工学)ワークショップへの参加報告（資料 3）

北村会長より、昨年 11 月 25 日～26 日に JST 研究開発戦略センターが「イノベーション競争力の維持強化に必要な基盤技術への取り組み」をテーマにワークショップを開催したことが資料 3 を使って紹介された。また、大学と産業界の若手研究者・技術者を集めた会合だったことから、JST から八大学にコメンテータ・アドバイザーの派遣要請があり各大学から 10 名の先生方に参加いただいたことへの御礼、および、このワークショップに参加しての会議模様の報告があった。

(4) 文部科学省との意見交換報告（資料 4）

協議事項 (4) 高度工学教育研究のあり方について（資料 8）を合わせて議論

北村会長より今期の重点施策として実施した文部科学省との意見交換会の実施状況について資料 4 を用いて報告があった。昨年 8 月より昨晚の工学部長懇談会まで、「工学系教育改革のあり方」をテーマに、計 5 回の意見交換会を開催した。また、これらの議

論内容は、資料 8 にあるように、今年になって文部科学省に「大学における工学教育のあり方に関する検討委員会」並びに同委員会の下の「ワーキンググループ」が設置され、そこでの工学系の教育改革の議論に引き継がれていることが報告された。

八大学側はこの工学部長会議メンバーが意見交換会に対応したので、議論内容は熟知しており、ここでは以下のような若干の追加議論があった。

- ・ 重要な論点「6年制は受けられるか」では、薬学等の他分野の状況、学生のモチベーションの確保などを勘案しながら、「初めに6年制ありき」でなく慎重な検討が必要。
- ・ メジャー・マイナー制度（阪大に縦軸基盤・横軸マイナーというアリーナ方式が好例）、プログラム方式、企業資金の活用・教育における企業との連携、などについても同様に前向きかつ慎重な検討が必要。

また、午後の会議で連合会の全メンバーへの報告は、北村会長からの概要説明と文科省講演での専門教育課からの検討内容説明の組み合わせで行うこととした。

2. 協議事項

(1) 達成度調査の実施状況と今後の進め方について（資料 5）

北村会長より、達成度調査は平成 27 年度より、「調査のプラットフォームは連合会が維持、各大学が必要性と大学の実態に合わせて個別実施」という方針を採用し、平成 28 年度は資料 5 にあるように前年度からさらに 1 校減って 3 大学の実施となったことが報告された。資料の 2 ページ目の今回のアンケートの回収状況からみても調査活動の低迷は少々深刻であり、八大学として達成度調査の今後の方向について今年も運営委員会で検討を進めてもらうこととした。

(2) 博士フォーラムの実施報告と今後の進め方について（資料 6）

北村会長より博士フォーラムについても抜本的見直しに従って平成 27 年度より「博士課程学生の意見要望を聞き教育改革に役立てる」形に抜本的見直しを行い、平成 27 年度より新しい形式をトライしている事が紹介され、平成 28 年度に幹事校を務めた九州大学・高松先生より資料 6 を用いて実施報告があった。今回より博士課程を出て企業で活躍している先輩に参加してもらったことや、モデレータ（助教）の巧みさもあって博士課程学生にとって有意義なフォーラムになったとの報告があった。「教育改革への反映」という本来の狙いに留意とのコメントがあった。今年度は東北大が幹事校を担当することになっており、東北大・滝川先生より色々検討したい旨の発言があった。

(3) 八大学からの提言と今後の進め方について（資料 7）

まず、北村会長・運営委員長より検討経緯の説明があった。昨年 7 月の運営委員会にて、京大・大津先生を主査に「留学生問題」を取り上げることを決定、9 月の提言分科会にて骨格を作成し、秋の常設会議に提出、承認を受けて、10～11 月の留学生に関する企業アンケート（JRIA への委託実施）を実施、その結果を組み込んで、12 月の運営委員会で提言案を作成、年明けから分科会でのメール審議、工学部長会議への意見照会

を経て、年度末に最終案を作成し、今回常設会議に提出されている。その後、資料 7 を用いて提言のポイントの幾つかが北村会長より紹介され、審議を行った。エグゼクティブサマリと本文に記載の 3 つの提言について、誰に対する提言・要望かが明確にわかる記述に修正することとした。

なお、今後の提言事業について、「本件が 3 件目となるが、八大学としては 5 件 (5 年) 程度までは個別テーマの提言を積み重ね、その後は内容のアップデートや対外対話のフォロー、新規提言作成など適宜対応して行く」という方針が了承された。また、本年度の提言テーマとして、「初等中等教育への工学のアピール法、テキストの作成」、「産学連携の在り方」、「就職活動問題」、「工学教育での企業との連携」などの提案があり、これらを含めて運営委員会に本年度の提言作成を附託することとした。

3. その他

(1) 第 5 回 UK-Japan ワークショップの案内 (資料 9)

東工大・岩附先生より、資料 9 を用いて今年度の第 5 回 UK-Japan 工学教育フォーラムが、9 月 7 日～8 日に英国・グラスゴー大学で開催されることが紹介され、各大学からの参加を歓迎する旨の案内があった。

(2) 今後の予定について (資料 10)

資料 10 を参考に、北村会長より今後の幹事校の予定として、今年の秋が九州大学、来年の春が東京大学であることが紹介された。

- ・ 次回の常設会議について、幹事校の九大・高松工学部長より、本年 9 月 29 日 (金) に福岡市天神にある福岡ガーデンパレスにて開催予定とのアナウンスがあった。
- ・ 次々回の常設会議について、幹事校の東大・三谷新領域創成科学研究科長に代って大久保工学部長より、来年 4 月 20 日 (金) に KKR ホテル東京にて開催予定とのアナウンスがあった。

(3) 会長交代について

今回、会長校が交代し、今年度と来年度は名古屋大学が会長校を担当する。社団法人の役員は社員総会の承認によって選任するので、本日午後に北村先生が会長を退任し、代わって名古屋大学の新美先生が会長に選任される。なお、会長交代に伴う旧新会長の退任・新任の挨拶は午後の会議の最後のところで行うこととした。

以上をもって第 5 回八大学工学部長会議を終了することを北村議長が宣言し、事務局長より、午後 13 時 30 分より定時社員総会、14 時より第 133 回八大学工学関連研究科長等会議が開催される旨の案内があった。

以 上